

## 「後世に伝える美」

どのような形で文化財を後世に残していくべきなのだろうか？

2年( )組( )番 名前( )

1回目で記入

曹源寺（石川県珠洲市）( )  
<能登半島地震前>



( )坐像、( )世紀  
<能登半島地震後>



【仏像の印象】1回目で記入

【仏像の印象】1回目で記入

Q. どのような姿で曹源寺の仏像を後世に残したいですか？

Q. 曹源寺の仏像の造形には、どのような思い（願い）が込められているのだろうか？

【仏像の三つの姿】

- ①( )としての姿
- ②( )としての姿
- ③( )としての姿

3回目で記入

Q. あなたが修復師ならば、どのような姿で曹源寺の仏像を後世に残したいですか？



＜形＞

- ・欠損部、外れた部分はそのままの状態にする
- ・欠損部はそのまま、外れた部分は基に戻す
- ・欠損部を補修し、外れた部分を基に戻す

＜色＞

- ・現在の状態のままの色にする。
- ・震災前の状態の色に戻す。
- ・作られた当時の状態の色に戻す。

【理由】

＜メモ＞

意見共有で気になる意見、取り入れたい視点

自分で新たに考察したこと

＜まとめ＞

②回目 ④仏像を後世に伝える際に大切な視点について考えてみましょう。

2年( )組( )番 名前( )

<仏像予備知識>



興福寺阿修羅像の修復の例を考えてみましょう。

Q1. 三つの阿修羅像の印象の違いを感じ取ってみよう。



明治期の  
修復前の状態



現在見  
ること  
ができる状態



復元像  
(作られた当時の状態)

【印象】

【印象】

【印象】

Q2. あなたが明治期の修復に携わったのならば、どのような姿で後世に阿修羅像を残しましたか？

<形> 腕が欠損したままにする

・ 腕を付ける

<色> そのままにする（彩色し直さない）

・ 鮮やかな当時の色に彩色し直す

【理由】

<メモ>

意見共有で気になる意見、取り入れたい視点

自分で新たに考察したこと